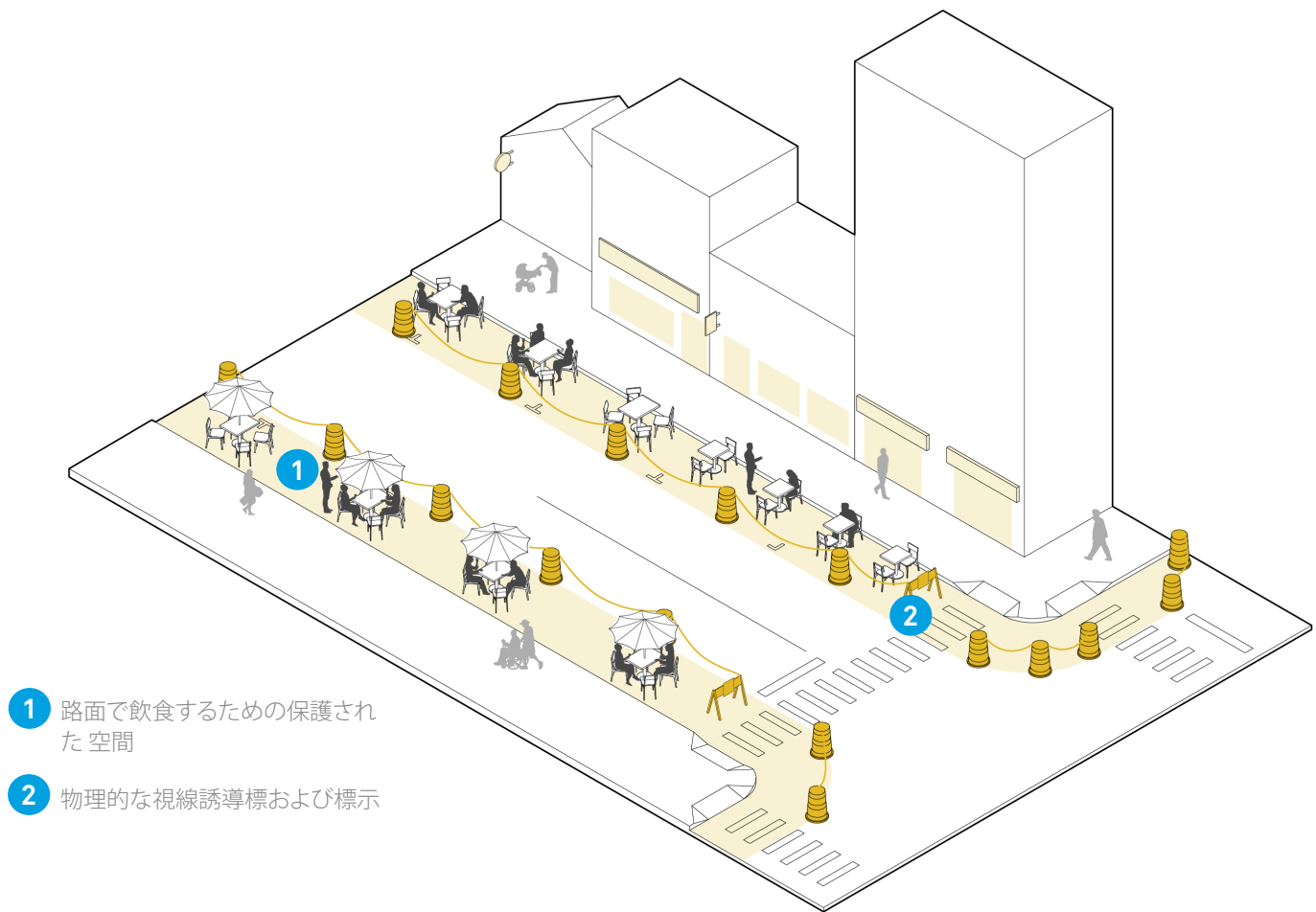




① 路面で飲食するための保護された空間

② 物理的な視線誘導標および標示

飲食店が営業を再開しながら対人距離の確保に関するガイドラインを遵守できるように、屋外での飲食空間を設けます。

即地的状況

- 飲食店、カフェ、屋台および/あるいは露天が複数街区に沿って密集している区間。

鍵となる手段

- 飲食店が集積区間を特定し、「飲食街路」区域に指定する。
- 既存の以前より指定された屋外飲食区域内における占用料は、必要に応じて免除する。
- 「飲食街路」区域の明確な稼働基準（テーブル数など）を確立する。

実施計画: 1週間。

期間: 数ヵ月間。



出典：ゴー ヴィリニウス

リトアニア・ヴィリニウス

ヴィリニウスの中心部の大聖堂広場を含む18カ所の公共空間において、事業者が安全に運営できるよう、屋外のカフェや飲食店のために開放されている。夏季にはさらに多くの空間がひらかれる予定。

計画

- ・「街路飲食」区域を設定し、街路や車線を仮設的に閉鎖あるいは、必要に応じて緊急行政命令の範囲内で駐車空間を再利用する。
- ・歩道での飲食占用料を免除する。占有基準を設定し、歩行者の移動を制限したり、公道での活動を制限する条例を調整する。
- ・駐車の監視員や公共事業作業員による支援業務を促す。清掃や監視の支援は、地域団体に依頼することができる。
- ・運用を管理する市または州の「外出自粛」制限に従い、運用期間と時間に取り組む。
- ・変更確定前に、生活必須職従業員のための公共交通が存在する場合、その実績とアクセスを考慮する。生活必須職従業員や目的地にサービスを提供する、主要な公共交通経路には推奨されない。

連携

- ・必要に応じて、事業者や露店主が関心事を記録できる簡易フォームを作成する。反復的手法によって最初から伝える。
- ・即地的な事業者団体やBID、即地的協会、その他のパートナーシップを活用してプログラムを宣伝し、各地域内の評価と通知を迅速に行う。
- ・部局間のコミュニケーションについて、特に緊急サービスおよび清掃や維持管理に関わる従業員に対してひらいて維持する。

設計 + 実装

- ・必要に応じて、端部で重分離を用いて、車両通行を遮断する。
- ・必要に応じてテーブル、椅子、傘を用いる。機器の保管と配備のための指針を確立し（十分な歩行者経路を維持するために）、営業時間外における歩行者、自転車、車両の経路を確保する。
- ・飲食店のための配達規範を営業時間や全体的な経路に基づいて確立する。
- ・後部座席から後部座席までを計測して、距離の基準や公衆衛生指針を示すための標示を施す。
- ・歩行者が対人距離を確保して十分に移動できるようテーブルや椅子のない歩道上経路を維持する。

モニタリング

- ・重要な基準：公衆衛生指針に従ってテーブルの間隔を定め、歩行者が移動するための明確な区域を維持する。
- ・定期的に飲食店や売店にアンケートを取ってフィードバックを入手し、必要に応じて営業時間を調整する。



出典：NACTO-GDCI



出典：@demescope

米国・イリノイ州・シカゴ

シカゴのブロードウェイストリートは、駐車帯を飲食店の屋外席として利用し、歩行者のための公共空間へと変貌を遂げた。

イタリア・ミラノ

ミラノでは、駐車空間を再目的化して屋外飲食区域に指定している。